

## 2.公民館のこと

### 8月30日 “森の学校”「森の探検×ビンゴゲーム」

#### “森の学校”シリーズ

矢上公民館、役場産業支援課との共催で“森の学校”に取り組んでいます。令和2年度から続けられていて、ガイドを付けての森の散策や、森から採取した植物を使ったモノづくりや、ガイドと一緒に森を散策するなど「森に触れる」という体験をベースに企画をしています。邑南町は全体の面積の86%が森林。どこにいても緑を感じないことはありません。誰か相手のことを知ることで仲良くなっていくように、森や木、植物のことを知ることで、森に囲まれた暮らしが豊かになるようにしたいという思いを込めています。



#### 「森の体験×ビンゴゲーム」（表紙の写真です）

子どもたちにとっては夏休みの終盤、“森の学校”「森の探検×ビンゴゲーム」を開催しました。場所はいこいの村しまねの奥にある森の遊歩道。ガイドと一緒に遊歩道へ入っていき、クロモジやクリなど指定された15種類の植物の葉や実を集め、それを使ってビンゴゲームをするという内容です。当日はスタッフを含め15人程度が一団となって遊歩道を散策しました。植物のことを知ると森の中では足元を見たり、上の高い所を見たり、遠くを見たりと見どころがたくさんになります。植物を知ることによって森の見え方が変わることを体験する学びがあった日となりました。



## これから

### 10月25日（土）“森の学校”「こけ玉づくり教室」

約1か月先ですが、先にお知らせします。いこいの村しまねを会場に、森の遊歩道で苗木と苔を採取し、苔玉を作ります。ぜひ、森に触れる体験をしてみてください。参加費は無料、どなたでも参加いただけます。追って防災無線放送などで案内しますが、日和公民館までお問い合わせください。



### 3B体操が「毎月第4金曜日、午後1時30分から」に変更しています

ボール、ベル、ベルターを使った健康体操です。参加費は500円、午後1時半から2時半、研修室で行っています。どなたでもご参加いただけます。次回は10月26日（金）です。

### 松木國男さんの短歌、俳句の作品をご紹介します。

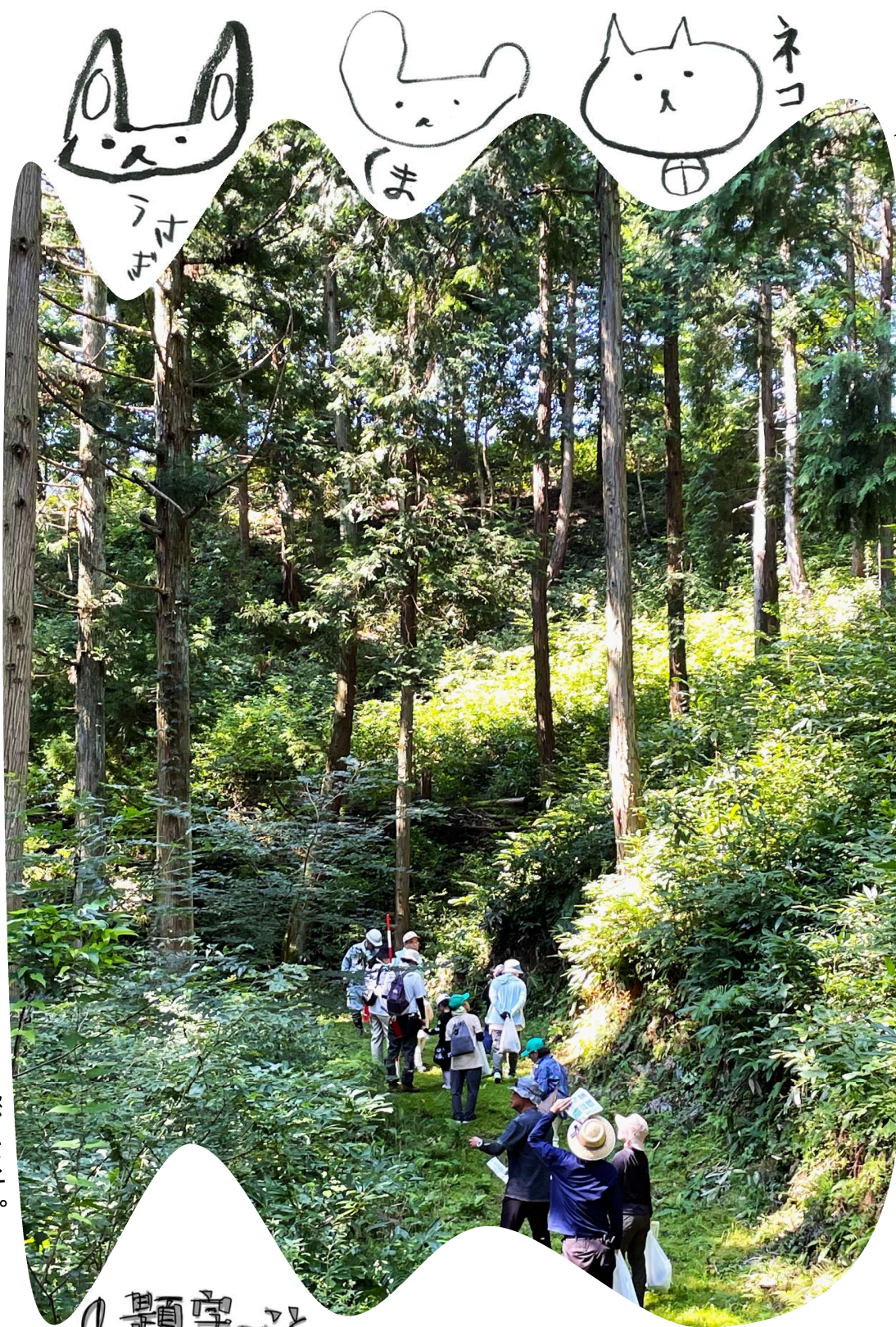
邑南町で発行される文芸誌「大耕」第32号に松木さんの投稿した作品が掲載されます。その中から一部をご紹介します。どれも松木さんが感じられた情景が浮かんでくるようです。

スイートコーン 背丈に似合った実を生ず

里山の 残雪小藪で ホーホケキョ 縄張り守った安堵声

ウォーキング 夕日が照す 神社前 幸せでしたと 拍手を打つ

久しぶりに森に入りました。森って、いつからか遠い存在になってた気がします。



令和7年9月22日 第262号 文責：湯浅

日  
和  
公  
民  
館  
だ  
よ  
り  
9  
月  
号

## 0.題字のこと

今号の題字とイラストは、坂根 好誠さん、花那さんのおふたりに書いていただきました。今月号から〇月号とつけてもらったんですが、好誠くんは習字をされていたそうで達筆！花那さんのイラストもかわいい！うさぎ、くま、ネコと、、イヌ、、ですかね？ お話も聞いてます。

- ① いま、頑張っていることがあれば教えてください。  
ーバスケ、ピアノ（好誠） ー体操、国語（文字書き）（花那）
- ② 日和のことは好きですか？  
ー空気がおいしいところが好き（好誠） ー優しいおじいちゃん、おばあちゃんが好き（花那）  
おじいちゃんもおばあちゃんも、好誠と花那ちゃんのこと絶対大好き！

# 1. 日和と邑南町の神楽のこと

邑南町の秋は神楽の季節、といっても過言ではないと思います。神楽は各地域で脈々と受け継がれてきた無形の文化として、そしてそれぞれの地域のつながりを豊かにするものとして受け継がれてきています。

さて、日和は大元神楽。日和での暮らしにひとつ楽しみが増えるように、あらためて日和大元神楽に触れてみようと思います。

（ここから諸説ありますので、こうだ、ということがあれば勉強させてください）

## 400年以上前の、神職が執り行う『大元神楽』

大地の神様への感謝を表す『大元神楽』は近世（1600年頃）以前に石見地域一体で伝承されたそうです。当初、大元神楽は神職により演舞を奉納する神事でした。それが明治初期（1870年頃）政府が「神職演舞禁止令」を発令。神職による演舞が禁止されました。しかし山間部では古くから伝えられた大元神楽の姿は、地域の人々が演舞を行うことで受け継がれていきます。

## 大地への感謝に加え、“みんなで楽しむ『大元神楽』”へ

地域で受け継がれた神楽には娯楽の要素も含まれていったそうです。きっとそこは、地域みんなが集まり、ワイワイと一年をねぎらう場だったのではないのでしょうか。そう考えると昔々の日和でも観客席で隣り合うひとと飲んで笑いながら、神楽を“背中で見て楽しむ”姿があったかもしれません。

## 日和大元神楽団

さて、令和7年。もちろん日和大元神楽団により日和の神楽は続いています。“受け継ぐ”といっても大昔の動画が残ってはいないので、神楽演目の背景や、特徴となるゆったりとした6調子のテンポ、動き方の所作（しよさ）についてなど、先輩方に言われてきたことを元に団員で話し合い、考えながら神社での奉納や、地域で集まる場に向けて稽古が続けられています。

## 地域のつながりを豊かにするもの

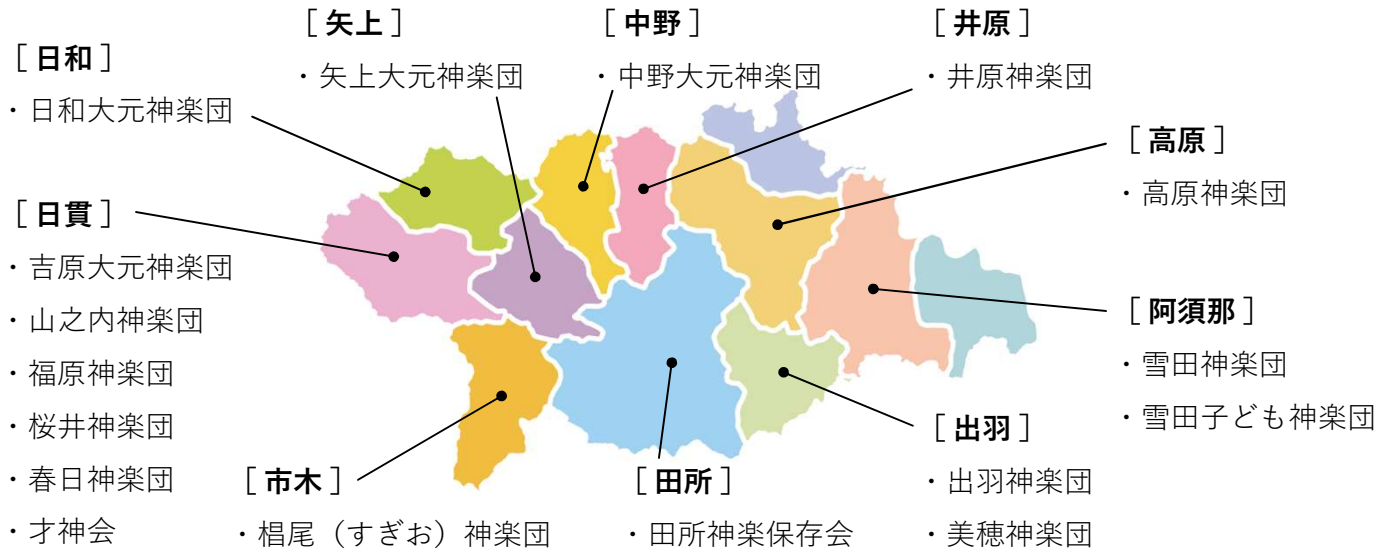
今年は祭りの中でも夜通し神楽を楽しむ3年に1度の大元祭りの年。“みんなで日和の恵みに感謝し、労い、楽しむ場”が朝まで行われます。毎度楽しみにされている方はもちろん、久しく見てないなという方もぜひ寄ってみて、あらためて一番身近な日和の伝統に触れてみてはいかがでしょうか。

▶▶▶ 日和大元祭

令和7年10月16日（木）桜井神社にて

▼ 小学校のころ、大人の人人に教わりながら舞ったことをよく覚えていて、家族や親戚ではない大人たちの仲間になった感覚がありました。

● もちろん、邑南町各地に魅力的で、神楽に熱い神楽団の方々がいらっしゃいます。



● 町内で複数の神楽団による演目を見ることができる共演大会などの抜粋です。ぜひ一度、各地の神楽にも触れてみてください。

- |                 |                     |        |
|-----------------|---------------------|--------|
| ・ 邑南町陰陽神楽競演大会   | 主催：邑南町商工会青年部        | 秋に開催   |
| ・ 阿須那神楽共演大会     | 主催：雪田神楽団            | 11月に開催 |
| ・ 星が丘桜まつり神楽共演大会 | 主催：桜まつり実行委員会        | 4月に開催  |
| ・ 日貫大元神楽フェスティバル | 主催：大元神楽フェスティバル実行委員会 | 11月に開催 |

● 最後に、日和大元神楽団 団長 伊達一樹さんに日和の神楽のことについてお聞きしました。



—— 大元祭、楽しみですね。

日和の神々をお迎えして、翌朝白々するまで遊んでもらう場です。だから、見に来ていただく方にも酒を交わして一緒に楽しんでもらえたらうれしいです。

—— 日和大元神楽団はいつ立ち上げられたんですか？

昭和6年に発足され今日まで続いてきています。

—— 日和の神楽の“見どころ”ってなんでしょうか？

団員が日和を盛り上げようとしている姿だと思っています。神楽には地域を盛り上げる力があると思っています。

—— 日和の神楽はどうありたいと考えられてますか？

地域の活性化や仲間づくりに一躍するものでありたいです。そのため、子どもが神楽をする機会を大切にしてきました。神楽の継承という意味もありますが、子どもが大人たちと一緒に取り組み、地域に触れる場になっていると思います。



## そばの花が満開です。

日和郵便局の裏の田で、そばの花が満開です。そばは8月の盆頃に種をまき、9月には花が咲きます。10月に入ると花は無くなり（急いで見に行ってください）10月末頃刈り取りが行われるそうです。日和でできたそばは千蓼庵で使われています。

## 10月12日（日）竹灯籠をつくろう（詳しくはチラシが配れます）

チームおくだにさんが主催する「桜井神社 竹あかりの夜」は今年で3年目となります。今年は竹灯籠の点灯を大元祭に合わせるよう計画されていて、そこにむけて竹灯籠をつくるワークショップが開催されます。昼食にはカレーが用意されます！ぜひご参加ください。

## 10月16日（木）日和大元祭

10月16日（木）の夜、土地の恵みへの感謝と、みなさんを労う場として日和大元祭が行われます。みんなで楽しみましょう！

## 10月18日（土）子どもみこしを行います

10月18日（土）の午後2時ころに公民館から桜井神社に向けて小学生や園児の皆さんと一緒にお神輿を担ぎます（雨天中止）。沿道での見送りやぜひ行列にもご参加ください。



## 邑南町の秋はイベントシーズンです！

これから10月、11月と日和でたくさんの祭りやイベントがありますが、町内各地でも魅力的なイベントが予定されています！今月の公民館だよりでは、まずは9月の終わり、10月のイベントを抜粋してお伝えします。（これ以外のオススメのイベント、教えてください。来年またお伝えするようにできればと思います。）

### ・ 9月27日（土）14時開映 田所公民館

#### ドキュメンタリー映画「牛と人風土記」お披露目試写会（コミュニティパートナーズ）

昭和30年代まで開かれていた「出羽の牛馬市」を中心に、当時の街や人、暮らしを追ったドキュメンタリー映画をコミュニティパートナーズ、瑞穂文化研究会が制作されました。日和公民館にチラシがありますのでご覧ください。

### ・ 10月5日（日）10:00-15:00 香木の森公園

#### 秋のフリマ [矢上]（やまばフリマの会、香木の森・いわみ温泉）

香木の森公園で行われるステージやスタンプラリーもある大きなフリーマーケットです。矢上のフリマは出店者同士の交流にも力を入れられていて、矢上に限らず町内外からたくさんある出店が特徴だと思います。今回は邑南町の特産品が当たる抽選会も計画されているようです。

### ・ 10月12日（日）10:00-15:00 市木町集落（八幡宮周辺）

#### 市木市 [市木]（市木市実行委員会）

市木で開催される市木市。市木小学校に駐車をしてから市木の町を散策するように会場が作られています。このイベントは市木の子どもたちが企画から参加されていますが、今年は実行委員長を市木の高校生（！）で、矢上高校からの出店も計画をされているとのことです。

## ち. その他

教育委員会より「コミュニティ・スクール」についてのお知らせです。

邑南町では地域と学校が一緒になって子どもたちを育てていく仕組み「コミュニティ・スクール（コムスク）」の取組を令和8年度から行います。

8月21日に福田 範史さんを講師にお招きし「邑南町のコミュニティ・スクールの進め方」という演題で講演会を行いました。福田さんは鳥取県南部町のコミュニティ・スクール（以下コムスク）に携わり、現在は文部科学省の「コムスクマイスター」として活躍されています。南部町は2006年からコムスクを導入され、「人づくり」「地域づくり」「つながりづくり」の好循環を目指した取組を実践されているコムスク先進地です。福田さんは、コムスクとはどんな仕組みか、地域のメリットや役割などをわかりやすく教えてくださいました。今回の講演をいかし、邑南町らしいコムスクを皆さんと一緒につくっていかれたらと思います。

